

## < なるほど！知っ得 > みんなで守る郷土の自然～名峰「鯛ノ巣山」

鯛ノ巣山は奥出雲町上阿井と雲南市吉田町との境に位置し、「出雲風土記」の志努坂野（しめさかぬ）であろう、山名の由来について「となりに田井郷があり、これから‘たい’となった」と。また、「山の中腹に籠もり岩という大きな岩があり、イザナミの尊が七日七夜この岩に籠もられお産をされた。このことから田井ではなく、めでたいということで、‘鯛’の字を充てた」とも云われている。（※1）

山頂からは、大山、宍道湖北山山系の山々、出雲平野、三瓶山にいたるまで眺めることができる。さらに尾根伝いに南へ200m進むと弁当岩という巨岩があり、そこにくりひろげられる中国山地の山々も大パノラマはまさに絶景である。

さらに、イワカガミ、ユキザサ、タムシバ、ルイヨウボタン、チゴユリ、エンレイソウなどの貴重な植物もみられ、野生動物の生息地でもあり、自然の宝庫である。



（※1）鯛ノ巣の山名の由来については、この他にもいくつか云われがある。

引用：「鯛ノ巣山」（鯛ノ巣の自然を守る会）リーフレットから